

第8回新型コロナウイルス対策本部会議 次第

日時 令和2年3月26日（木）

16:30～

場所 危機管理防災センター
本部会議室

1 開 会

2 議 題

- (1) 新型コロナウイルス感染症の発生動向について
- (2) 第2回埼玉県新型感染症専門家会議の概要について
- (3) 「県立学校の再開に向けた準備方針（案）」について

3 知事訓示

4 閉 会

第8回新型コロナウイルス対策本部会議

出席者名簿

職 名	氏 名	備 考
知事	大野 元裕	
副知事	奥野 立	
副知事	飯島 寛	
知事室長	今成 貞昭	
報道長	板東 博之	
企画財政部政策・財務局長	堀光 敦史	代理
総務部長	北島 通次	
県民生活部長	小島 康雄	
危機管理防災部長	森尾 博之	
環境部長	小池 要子	
福祉部長	知久 清志	
保健医療部長	関本 建二	
産業労働部長	加藤 和男	
農林部長	牧 千瑞	
県土整備部長	中村 一之	
都市整備部長	和栗 肇	
会計管理者	上木 雄二	
公営企業管理者	立川 吉朗	
病院事業管理者	岩中 督	
下水道事業管理者	砂川 裕紀	
副教育長	萩原 由浩	代理
警察本部長	高木 紳一郎	
議会事務局長	下田 正幸	
監査事務局長	飯塚 寛	
人事委員会事務局長	武藤 彰	
労働委員会事務局長	奥山 秀	

新型コロナウイルス感染症に関する対応状況

1 新型コロナウイルス感染症に関する電話相談（3月24日現在）

(1) 県相談窓口

- ア 開設日：令和2年1月24日（金）
 - イ 体制：平日日中（各保健所）土日祝日中（保健医療政策課）夜間（＃7119）
 - ウ 相談件数： 33, 227（685）
 - エ 主な相談：感染不安 8, 176（138）
受診先確認 10, 539（247）
 - オ 帰国者・接触者外来紹介： 345（11）
- （ ）内は3月24日の相談件数

(2) 県民サポートセンター

- ア 開設日：令和2年3月1日（日）
 - イ 体制：24時間
 - ウ 相談件数： 14, 359（637）
 - エ 主な相談：受診先確認 4, 776（192）
感染不安 3, 889（174）
 - オ 保健所への引継ぎ： 1, 846（80）
- （ ）内は3月24日の相談件数

2 帰国者・接触者外来で（35か所）の診療者数（2月5日～3月24日）

	外来受診患者数〔人〕	（内訳）			外来受診患者数のうち	
		相談センターからの紹介			新型コロナウイルス感染症又は疑いとして入院した患者数〔人〕	PCR検査実施件数
		有	無	不明		
計	560	360	163	37	94	415
	(19)	(16)	(3)	(0)	(2)	(19)

（ ）内は3月24日の件数

3 県内の発生状況（3月26日 14：00現在）

退院者数：21人

No	判明日	年代	性別	居住地	現状	周囲の患者の発生	濃厚接触者の状況
63	3月25日	70代	女性	所沢市	入院中	No.55	ご家族1名入院中 その他の濃厚接触者は調査中
62	3月24日	50代	男性	川口市	入院中	なし	ご家族3名健康観察中

61	3月24日	60代	男性	坂戸市	入院中	なし	ご家族1名健康観察中 その他の濃厚接触者は調査中
60	3月24日	60代	男性	さいたま市	入院中	なし	調査中
59	3月24日	40代	男性	戸田市	入院中	なし	ご家族3名健康観察中 その他の濃厚接触者は調査中
58	3月24日	70代	女性	深谷市	入院中	No.57	調査中
57	3月24日	70代	男性	深谷市	入院中	No.58	調査中
56	3月24日	20代	男性	春日部市	入院中	No.54	ご家族2名健康観察中 その他の濃厚接触者は調査中
55	3月23日	60代	男性	所沢市	入院中	No.63	ご家族1名入院中 その他の濃厚接触者は調査中
54	3月22日	50代	女性	春日部市	入院中	No.42 No.46~47 No.53	ご家族3名健康観察中 その他の濃厚接触者は調査中
53	3月22日	20代	男性	蓮田市	入院中	No.42 No.46~47 No.54	調査中
52	3月22日	40代	男性	川口市	入院中	なし	ご家族2名健康観察中
51	3月22日	40代	男性	川口市	入院中	No.48 No.50	ご家族2名入院中
50	3月22日	80代	女性	川口市	入院中	No.48 No.51	ご家族2名入院中
49	3月22日	40代	男性	川口市	入院中	No.43	ご家族1名入院中
48	3月21日	80代	男性	川口市	入院中	No.50~51	ご家族2名入院中 その他の濃厚接触者は調査中
47	3月21日	40代	女性	春日部市	入院中	No.42 No.46 No.53~54	ご家族3名健康観察中 その他の濃厚接触者は調査中

46	3月21日	50代	男性	春日部市	入院中	No.42 No.47 No.53~54	調査中
45	3月20日	50代	女性	越谷市	入院中	なし	調査中
44	3月20日	80代	女性	春日部市	入院中	No.42	ご家族1名入院中 その他の濃厚接触者は調査中
43	3月20日	80代	男性	川口市	入院中	No.49	ご家族2名健康観察中 その他の濃厚接触者は調査中
42	3月19日	50代	男性	春日部市	入院中	No.44 No.46~47 No.53~54	ご家族1名入院中 濃厚接触者4名入院中
41	3月19日	20代	男性	狭山市	入院中	なし	ご家族2名健康観察中 その他の濃厚接触者は調査中
40	3月19日	50代	男性	桶川市	入院中	なし	ご家族2名健康観察中 その他の濃厚接触者は調査中
39	3月19日	70代	男性	志木市	入院中	No.38	ご家族1名入院中 ご家族1名健康観察中 その他の濃厚接触者は調査中
38	3月18日	60代	女性	志木市	入院中	No.39	ご家族1名入院中 ご家族1名健康観察中 その他の濃厚接触者は調査中
37	3月17日	60代	男性	熊谷市	入院中	なし	ご家族1名健康観察中 その他の濃厚接触者は調査中
36	3月17日	40代	男性	志木市	入院中	なし	ご家族3名健康観察中 その他の濃厚接触者は調査中
35	3月17日	50代	女性	深谷市	入院中	No.34	ご家族1名入院中、1名PCR検査陰性 その他の濃厚接触者は調査中
34	3月17日	60代	男性	深谷市	入院中	No.35	ご家族1名入院中、1名PCR検査陰性 その他の濃厚接触者は調査中
33	3月17日	60代	男性	さいたま市	入院中	No.22~23	ご家族1名入院中 その他の濃厚接触者はなし

32	3月14日	20代	女性	新座市	入院中	No.31	ご家族2名健康観察中 その他の濃厚接触者は調査中
31	3月14日	30代	男性	入間市	退院	No.32	ご家族2名PCR検査陰性 その他の濃厚接触者は調査中
30	3月13日	10代	女性	越谷市	退院	No.21 No.26～29	調査中
29	3月13日	10代	女性	越谷市	退院	No.21 No.26～28 No.30	調査中
28	3月13日	10代	女性	越谷市	退院	No.21 No.26～27 No.29～30	調査中
27	3月13日	40代	女性	越谷市	退院	No.21 No.26 No.28～30	調査中
26	3月13日	40代	男性	越谷市	退院	No.21 No.27～30	調査中
25	3月13日	30代	男性	草加市	退院	なし	県内濃厚接触者なし
24	3月13日	40代	女性	川口市	入院中	No.19～20	ご家族4名
23	3月12日	50代	女性	さいたま市	入院中	No.22 No.33	ご家族2名入院中 勤務先の健康観察中
22	3月12日	20代	女性	さいたま市	退院	No.23 No.33	ご家族1名入院中 その他の濃厚接触者1名健康観察中
21	3月12日	70代	女性	越谷市	退院	No.26～30	ご家族5名入院中 その他の濃厚接触者は調査中
20	3月12日	30代	男性	戸田市	入院中	No.19 No.24	ご家族2名入院中
19	3月12日	70代	女性	戸田市	退院	No.16 No.18 No.20	健康観察終了
18	3月12日	60代	女性	戸田市	入院中		健康観察終了

						No.16 No.19	
17	3月11日	50代	男性	さいたま市	退院	千葉県公表の17例目と同じ職場勤務	健康観察終了
16	3月11日	70代	男性	戸田市	入院中	No.18	健康観察終了
15	3月10日	30代	男性	川越市	退院	No.13~14	ご家族以外に濃厚接触者なし
14	3月10日	60代	女性	川越市	入院中	No.13 No.15	ご家族以外に濃厚接触者なし
13	3月10日	60代	男性	川越市	入院中	No.14~15	職場数名 健康観察中
12	3月10日	50代	女性	入間市	入院中	No.11	健康観察終了
11	3月10日	50代	男性	入間市	入院中	No.12	健康観察終了
10	3月6日	40代	女性	さいたま市	退院	なし	健康観察終了
9	3月8日	40代	男性	富士見市	入院中	なし	健康観察終了
8	3月6日	30代	女性	行田市	退院	No.5 No.7	健康観察終了
7	3月6日	60代	女性	行田市	退院	No.5 No.8	健康観察終了
6	3月5日	50代	男性	上尾市	退院	なし	健康観察終了
5	3月5日	60代	男性	行田市	退院	No.7~8	健康観察終了
4	2月21日	未就学児	男性	埼玉県	退院	No.2	健康観察終了

3	2月14日	-	-	埼玉県外	退院	(国の施設に滞在中に判明)	
2	2月10日	40代	男性	埼玉県	退院	No.4	健康観察終了
1	2月1日	30代	男性	埼玉県外	退院	(国の施設に滞在中に判明)	

4 入院患者数（3月26日 14:00現在）

	病床数	入院患者数（内訳）			
		患者	無症状病原体保有者	陰性・確認中	
計	75	41	41		

5 PCR実施件数

- 埼玉県が実施した疑い例検査数（さいたま市、川越市、越谷市、川口市実施分含む）

	検査数
合計	941
埼玉県	658
さいたま市	94
川越市	58
越谷市	28
川口市	103

3月25日現在

- 保険適用検査実施数：92件（3月24日現在）

第2回埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 概要

1. 日時：令和2年3月25日（水）18：00～19：30

2. 会場：本庁舎2階庁議室

3 委員（敬称略 五十音順）

岡部 信彦 川崎市健康安全研究所 所長

金井 忠男 埼玉県医師会 会長

川名 明彦 防衛医科大学 教授

坂木 晴世 国立病院機構西埼玉中央病院専門看護師

松田 久美子 埼玉県看護協会 会長

光武 耕太郎 埼玉医科大学国際医療センター 教授

4 県側参加者

大野 元裕 知事

小松 弥生 教育長

小島 康雄 県民生活部長

森尾 博之 危機管理防災部長

関本 建二 保健医療部長

本多 麻夫 保健医療部 参事

岸本 剛 衛生研究所 副所長

5. 主な意見

ア 現状の分析・評価

- 感染拡大して大流行している状況ではないが、固定しているわけでもない。状況を見極める必要がある。
- 埼玉県で発生原因不明患者が少ないのは見過ごしではない。
- 重症化しないと診療を受けない人もいる。水面下で疑い患者が増えていることも推測される。
- 落ち着いていても、油断をすると一気にアウトブレイクすることもある。
- 感染要因ごとに違いがあるなど県の分析は詳細に追っていると思う。
- 東南アジアからの帰国者は、今それほどいないが、増えているのが気がかり。
- 訪問看護で N95 マスクがあればありがたい。
- N95 マスクは使い慣れないとすぐに外したり、隙間ができたりするので、訓練が必要。サージカルマスクをきちんと使うことが有効。
- 他県の病院がコロナ感染で閉鎖され、県内医療機関に協力要請があるなど、他県からの患者の受入れも考えないといけない。

イ ピークを見据えた医療

- 一般病床での受入れについては、個々の病室の基準をあまり細かく決めるとできなくなる。
- 多くの医療機関で診てもらうための基準にしないと手が上がらない。
- 一般病床で何が最低限必要なのかだけ、余裕をもって示せばよいのでは。
- 病院全体、病棟全体、廊下の片側などゾーニングの考えで行うべき。
- 病棟では共用トイレの利用もあるなど、基準を一律に適用するのは難しい。
- 病棟の一つのフロアで専任スタッフを置き、病状を見ながら、重症は個室で、軽症は多床室とするなどコントロールすべき。
- 人が少ない時間帯は、患者同士の動線を共用できるなどの緩和もあるとよい。

ウ 公立学校の学校再開

- 県方針はおおむね妥当である。

- 学級閉鎖、学年閉鎖、学校閉鎖の段階があるように、どの程度の流行か、一点か広範か、地域で大人の発症が多いか少ないかで対応が異なる。今のところ小中高校生では感染が少ないが、まったく大丈夫とは言えない。
- 学校を閉鎖して学童保育に児童が集まってしまったことも気になる。
- 県内も西と東での動きも違う。埼玉県で赤信号なら厚生労働省のクラスター対策班からも助言もある。県境や都境も注意が必要。
- 感染者が出る前も子どもの心のケアが必要。

エ 県施設の再開、県主催イベント等の取扱い

- 県方針はおおむね妥当である。
- 経済や子どもへの影響とのバランスが国の指針で、大規模なイベントはやめたほうがいい。
- 博物館や美術館は人が集まらないようにして上手にオープンすれば。
- 対策が長期にわたるとすべて中止では人心が持たない。
- 集団感染のリスクを高める3つの条件が重なる環境を作らないこと、症状がある人は利用を遠慮してもらうこと、が大事。

「県立学校の再開に向けた準備方針（案）」について

令和2年3月26日

教育局

1 学校の再開準備等

県立中学校及び高等学校については、3月24日付け文部科学省通知及び「埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議（3月25日開催）」を踏まえ、感染予防対策を万全に講じた上で、春季休業終了後の学校再開を目指して準備を進める。また、県立特別支援学校についても、同様の対策を講じた上で、新学期の開始に向け準備を進める。

一方で、東京都内での感染者数が急増するなど、予断を許さない状況にある。このため、今後、本県で感染者数が急増した場合には、速やかに、臨時休校の措置を講ずるものとする。

2 入学式

- ・ 県立中学校及び県立高校は、参加者を入学者や教職員に限って開催する。県立特別支援学校は、保護者の参加も認めるが最小限とする。
- ・ 参加者間のスペース確保や時間の短縮などの工夫をする。

3 学校行事等

- ・ 全児童生徒を一か所に集める学校行事（始業式、体育祭等）は当面実施しない。
- ・ 校外行事（芸術鑑賞、遠足等）は当面実施しない。延期又は中止の方向で検討する。
- ・ 修学旅行は当面実施しない。なお、中止ではなく延期とすることを検討する。

4 部活動

- ・ 感染予防の徹底、実施内容や方法を工夫した上で開始する。
- ・ 各種大会については、関係団体に対し延期を要請する。

5 学校給食

- ・ 再開に当たっては、衛生管理基準を再度徹底する。
- ・ 再開する場合には、情勢急変時の対応も含めて食材納入業者との調整を図る。

6 学校再開に向けての留意事項

- ・ 感染予防・保健指導の徹底、換気の徹底など「3つの条件が同時に重なる場」の回避。
- ・ 授業や給食等の指導における感染症対策。
- ・ 混雑時を避けた登下校や短縮授業の実施。
- ・ 来校者は、玄関において氏名や来校時間等を記入。

7 児童生徒や教職員の感染が判明又は濃厚接触が特定された場合の対応

- ・ 感染が判明又は濃厚接触が特定された場合、保健所と連携を図り出席停止、臨時休校等の措置を行う。
- ・ 臨時休校となった場合の児童生徒への学習支援、心のケアやいじめ等の防止。

8 その他

- ・ 市町村立学校については、県立学校の方針を示し、各地域の状況を踏まえ、各市町村教育委員会において適切に判断していただくこととする。
- ・ 県内だけでなく、首都圏全体での対応が必要となる場合に備え、保健医療部とも連携し、各市町村教育委員会と随時情報交換を行う。

県立高等学校への通知及びQ & Aの主な内容

○ 基本的な感染症対策

- (1) 日常において、3つの条件（換気の悪い密閉空間、多くの人が密集、近距離での会話や発声）が同時に重なることを徹底的に避ける。
- (2) 基本的な感染症対策の徹底
 - ・十分な睡眠、適度な運動やバランスのとれた食事を心がけるよう指導する。
 - ・手洗いや咳エチケットなどの基本的な感染症対策を徹底するよう指導する。
 - ・健康観察を徹底して行う。（生徒及び教職員の毎朝の検温）
- (3) 発熱等の風邪の症状がみられる場合の対応
 - ・自宅で休養させる。
 - ・登校していた場合は、別室に待機後、帰宅させる。
- (4) 適切な環境の保持
 - ・教室のこまめな換気を行う。
 - ・昇降口等に消毒設備（アルコール消毒液など）の設置や、定期的な消毒（ドアノブなど、多数の者が触れる場所を中心に）を行う。
- (5) 来校者には、氏名や来校時間、連絡先等を記入させる。

○ 授業について

以下の点を徹底した上で授業を行うこと。

- (1) 万全な感染症防止対策を徹底する。
- (2) 生徒が密集する活動や近距離での活動にならないよう配慮する。
- (3) 外部人材を活用する際には、健康状況把握や感染防止対策を行う。
- (4) 各教科・科目において、単元や内容の順序を一部変更して行うなど工夫する。

○ 授業について ～ 留意する具体的な授業の場面 ～

各教科の例

- (1) 理科
近距離による会話等が必要となり、集団感染のリスクが高いことから、実験は当面実施せず、演示実験や実験動画の視聴に替えるなど工夫する。
- (2) 家庭
調理実習は生徒同士が近距離の活動となり試食も行うため、当面実施しない。
- (3) 音楽
歌唱や管楽器等を使う活動は当面実施しない。
- (4) 外国語
音読活動、ペアワーク、グループワーク等、声を発する際、近距離での活動にならないよう配慮する。

(5) 保健体育

- ・ 児童生徒の体力や健康状況を把握し、感染症対策の観点を踏まえた環境での活動になるよう、学習内容を工夫する。
- ・ 大人数での活動や身体接触を伴う活動（複数による準備運動など）は行わない。
- ・ 体育館や武道場等で実施する場合は、窓やドアを全開にして十分な換気を行う。

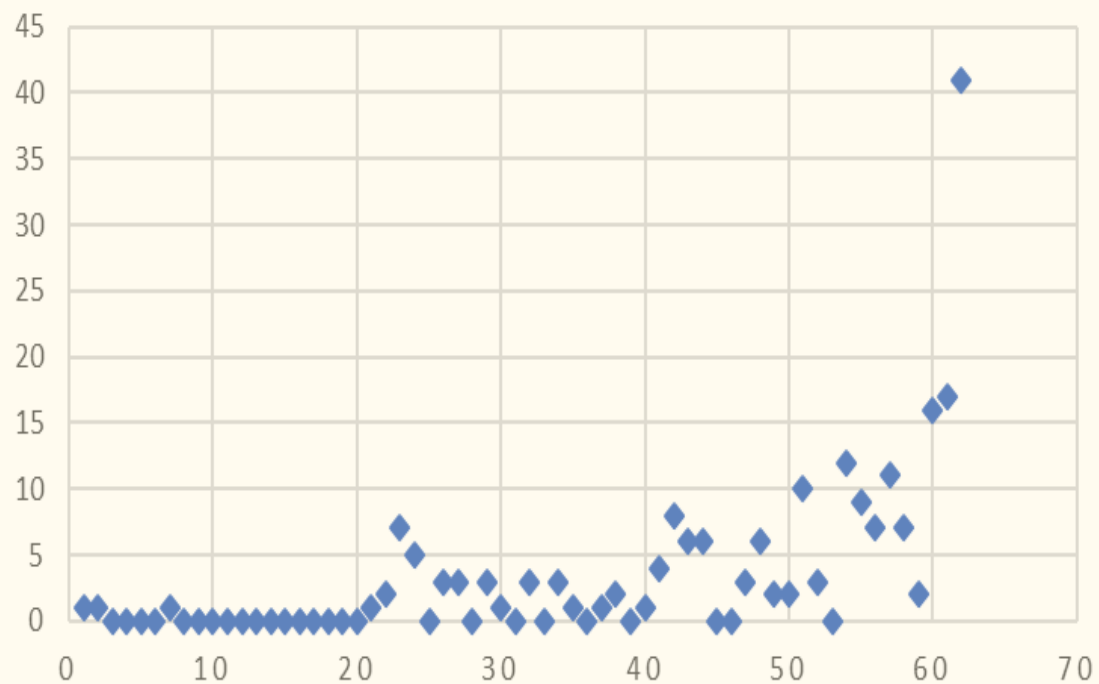
○ 部活動について

感染症防止対策を徹底した上で4月6日（月）から再開する。その際、以下の点に留意して実施すること。

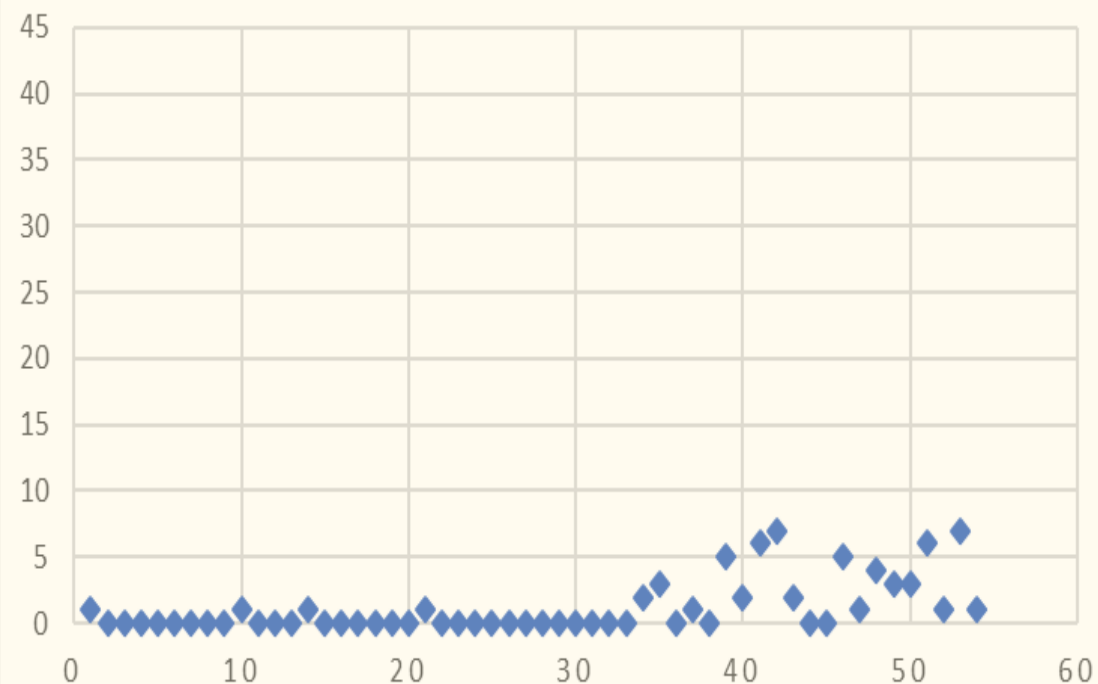
- (1) 屋内では、窓や扉を全開にして十分な換気を行う。
- (2) 生徒が密集する活動や近距離での活動にならないよう配慮する。
特に、歌唱や管楽器等を使う活動については、できる限り分散をして実施するなど、生徒間の距離を十分にとる。
- (3) 他校との合同練習（練習試合も含む）は実施しない。

陽性者数の状況（東京都・埼玉県）

東京都の陽性者数（公表日ベース）



埼玉県の陽性者（判明日ベース）



スペインの陽性者推移

Ministerio de Sanidad, Consumo y Bienestar Social発表

